

# 横浜市会の一年

横浜市会では年に4回定例会が招集され、市長や議員が提出した議案などについて議論しています。議案などは委員会で話し合わせ、最後に本会議で議決（賛成か反対かの意思決定）されます。

円中央の写真は予算代表質疑（2月21日）の様子です。



# ヨコハマ 議会 だより

令和2年第1回市会定例会号  
配布 令和2(2020)年5月

横浜市会議会局

〒231-0017横浜市中区港町1-1

TEL 045-671-3040

FAX 045-681-7388

<https://www.city.yokohama.lg.jp/shikai/>



## 横浜市会は移転します

横浜市会は5月25日(月)から新市庁舎へ移転します。来庁の際は、お間違えのないようご注意ください(詳細は4面「議会通信」をご覧ください)。



## もっと 定例会の様子を知りたい!

- ポイントをまとめて知りたい方は

横浜市会ダイジェスト



- より詳しく知りたい方は

横浜市会 中継



## 定例会以外には どんなことをしているの?

定例会の期間外にも、委員会を開いています。また、現地の視察や専門家の意見を聞くなど、調査・議論をしています。



## 第1回 市会定例会概要 | 1/30・3/24 | 会期55日間 |

### 主な流れ



## 77件の議案が可決されました



### 令和2年度当初予算

基礎的な行政サービスを行う一般会計予算は1兆7,400億円(前年度比1.2%減)で、一般会計、特別会計、公営企業会計をあわせた総額は3兆6,060億円です(前年度比2.7%減)。

### 令和元年度横浜市一般会計補正予算(第4号)

国の補正予算を活用し、道路や河川、公園等における施設・設備の老朽化などの安全対策の実施や、市立学校における教育のICT化に向けた環境整備としてパソコン整備等を進めます。(補正額: 153億4,400万円)

### 横浜市特定複合観光施設設置運営事業者選定等委員会条例の制定

特定複合観光施設区域整備法(通称:IR整備法)における設置運営事業等を行うとする民間事業者の募集・選定などを行うため、市長の附属機関として「横浜市特定複合観光施設設置運営事業者選定等委員会」を設置する条例を定めました。

# 予算質疑から

令和2年度横浜市予算議案と予算関連議案について、各会派を代表して14人の議員から「予算代表質疑」と「予算関連質疑」が行われました。その中から、24項目を抜粋して掲載しています。

<p><b>【自民党】10問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●SDGsの推進</li> <li>●旧深谷通信所の跡地利用</li> <li>●令和2年度予算案の基本的な考え方</li> <li>●公園の公民連携</li> <li>●実現に向けた決意</li> <li>●横浜IRとスマートシティ</li> <li>●旧上瀬谷通信施設での新たな交通の導入</li> <li>●デリバリー型給食の早期実現</li> <li>●1人1台端末を活用した教育</li> <li>●医療的ケア児・者への支援</li> </ul>	<p><b>【公明党】5問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●災害時における液体ミルクの活用</li> <li>●母子保健コーディネーター配置の意義</li> <li>●認知症への支援</li> <li>●8050問題対策</li> <li>●ハマ弁を給食に位置付けることの意義</li> </ul>
<p><b>【立国フ】6問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新たな劇場計画の検討</li> <li>●自治体DX (デジタル・トランスフォーメーション)</li> <li>●風水害時における地域との連携強化</li> <li>●RPAを活用した行政事務の効率化</li> <li>●事業者契約の解除規定</li> <li>●いじめ早期解決に向けた取組</li> </ul>	<p><b>【共産党】2問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●アドバイザー契約事業者の透明性・公平性・公正性</li> <li>●中学校給食の実施</li> </ul>
	<p><b>【ヨコ会】1問</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●インバウンド政策の転換</li> </ul>

## 政策 エスディーゼイズ SDGs(※)の推進 自民党

**問** SDGs達成に向けた取組を一層加速させるため、政策全体にSDGsを取り入れて個々の取組を充実させるとともに、推進体制を整える必要があると考えます。SDGsを組織横断的に推進する部署の設置が必要と考えますが、いかがですか。

**答** SDGs達成のさらなる加速に向け、現行の体制を検証し、必要な組織体制のあり方を検討します。

**用語解説** **SDGs** (文中の\_\_\_\_\_ (※)で表示)  
持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)。国連で採択された、持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。

## 政策 旧深谷通信所の跡地利用 自民党

**問** 深谷通信所跡地(泉区所在)は約77haの広大な土地で、緑に囲まれた魅力的な地区です。大規模スポーツイベントの盛り上げを踏まえ、多くの人が集まる市南西部地域のスポーツ拠点にふさわしい施設や、防災性の向上などをしっかり検討することが重要と考えますが、いかがですか。

**答** 今後、具体的な設計を進める中で、軽い運動から本格的なスポーツに対応できる施設を検討します。また、広域的な防災拠点としての機能も併せて検討を進めます。

## 政策 新たな劇場計画の検討 立国フ

**問** 国を代表する劇場となるならば、ニーズを踏まえ、プログラムづくりや集客など様々な課題を解決する必要があると思います。劇場整備に向けての課題認識と取組について、うかがいます。

**答** 国や民間からの支援も含めた財源確保や、経営に優れた運営主体づくり、国内外の劇場連携など持続可能な運営の実現が課題と考えています。2年度は、基本計画の検討や顧客動向も踏まえた管理運営に関する調査、国との調整や民間企業への働きかけを行っていきます。

## 政策 自治体DX(デジタル・トランスフォーメーション) 立国フ

**問** DXは、企業が競争力や持続性の向上を目的として、戦略的にデジタルを活用できるようにビジネスや組織を変革することで、デジタルに対応したサービスや機能をデジタルプラットフォームとして組み込み、内部を効率化します。その行政版が自治体DXです。市も他都市事例を含めた調査や責任者であるCDO(チーフ・デジタル・オフィサー)設置の研究を始めるべきと考えますが、いかがですか。

**答** 民間では、デジタル戦略を統括するCDOを置き、製品・サービスの高付加価値化などを進める企業も増えていると認識しています。市でも、ICTやデータを様々な分野で活用し、利用者目線に立ったより効果的な市民サービスの一層の推進に向け、研究を進めます。

## 防災 風水害時における地域との連携強化 立国フ

**問** もしものときのわかりやすさ、市民の安心という点では、風水害時も震災時と同様に全ての地域防災拠点が避難場所として開設されることが望ましいと思います。風水害時の避難場所開設など地域との連携を強化すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 風水害時は、土砂災害や浸水の恐れがあるエリアなどでは、災害状況を踏まえて地域防災拠点以外に地区センターなども開設します。各地域の状況に応じて適切に対応できるよう、地域との連携を強化する取組を進めます。

## 防災 災害時における液体ミルクの活用 公明党

**問** 地域防災拠点には、アレルギー対応も含めて粉ミルクを備蓄していますが、災害時に使用できない可能性もあります。必要としている避難者に液体ミルクが行き届くようにすべきと考えますが、いかがですか。

**答** まずは自助として各家庭で備蓄するよう、周知・啓発を進めます。また、災害時の物資の提供について協定を締結している事業者に対して、液体ミルクの供給が可能かを確認しています。必要な方々に提供できるように進めていきます。

## 働き方改革 デジタル RPA(※)を活用した行政事務の効率化 立国フ

**問** 毎年実施している保育所入所事務は、3か月で18,000件以上の申請書類を審査するなど、膨大な作業量があります。事務作業を全庁的に棚卸した上で、RPAの活用による事務効率化を進め、人件費圧縮や働き方改革につなげるべきだと考えますが、いかがですか。

**答** 職員の能力を最大限発揮するためには、内部事務の集約化や外部委託化などとあわせ、RPAなどICTを活用した事務の効率化をこれまで以上に進める必要があり、働き方改革にもつながると考えています。

**用語解説** **RPA** (文中の\_\_\_\_\_ (※)で表示)  
Robotic Process Automation(ロボットによる業務自動化)。これまで人間が行ってきた定型的なパソコン操作を、ソフトウェアのロボットにより自動化すること。

## 財政 令和2年度予算案の基本的な考え方 自民党

**問** 2年度予算案は、市を取り巻く環境変化を踏まえ、経済対策、子ども・子育て、教育、福祉、医療、まちづくり、環境、文化、観光など足元の課題に目配りされており、評価しています。基本的な考え方について、うかがいます。

**答** 人口減少、高齢化、多発する自然災害など、市は様々な困難な課題に直面する一方、多くの成長チャンスもあります。市民の安全・安心な暮らしを守り支えるとともに、培ってきた信頼や実績をさらなる成長と新たな活力につなげ、次世代につなぐ予算としました。

## 観光 インバウンド政策の転換 ヨコ会

**問** 新型コロナウイルス問題が大きな影響を与えています。インバウンドについて、国も市も中国からの多数の誘客に重点を置く政策を進めていますが、転換が必要と考えます。いかがですか。

**答** 市内外国人延べ宿泊者数93万人という中期計画の指標を達成するためには、4分の1を占める中国からの誘客は重要です。しかし、感染症流行による渡航制限等、観光を取り巻く状況を踏まえて、東南アジアや欧米等、幅広いエリアからの誘客にも柔軟に取り組みます。

## 子育て 母子保健コーディネーター配置の意義 公明党

**問** 妊娠期から切れ目のない支援の重要性を繰り返し主張してきました。平成29年度に3区で始まった母子保健コーディネーター配置は、2年度にはついに18区に拡充されます。配置の意義について、うかがいます。

**答** 気軽に相談できる窓口として信頼され、妊婦やご家族から様々な相談を受けるようになりました。妊娠期から子育てで家庭に寄り添う体制が整うとともに、関係機関との連携も深まり、的確な支援につながります。安心して出産・子育てをする上で大変意義があると考えます。

## 福祉 認知症への支援 公明党

**問** 後期高齢者の増加に伴い、認知症高齢者の増加も見込まれます。認知症は誰もがなり得るもので、多くの人に身近なものとなってきます。認知症になっても安心して暮らし続けるための支援について、うかがいます。

**答** 元年度から早期発見のため、もの忘れ検診を実施しています。2年度は、専門的な相談や医療が受けられるよう、認知症疾患医療センターを5か所増の9か所にします。認知症サポーターや認知症カフェの充実、「認知症施策推進計画」の策定など、共生社会の実現を目指します。

**福祉** **8050問題**(※)対策 **公明党**

**問** ひきこもり状態にある方の家族が疾病や介護などの課題を持っていたり、世帯全体が経済的困窮や社会的孤立などの課題を抱えていたりする可能性もあります。ひきこもり対策では世帯への支援が必要と考えますが、いかがですか。

**答** 親も高齢化しており、子の将来の生活に関する不安に加え、介護の問題に直面するなど様々な悩みを抱えている場合があります。相談窓口である各部署が、世帯全体の課題として捉え、チーム支援ができるよう、連携強化や体制構築に取り組みます。

**用語解説** **8050問題** (文中の\_\_\_\_\_ (※)で表示)  
80代の親がひきこもり状態にある50代の子を支えることで、親の介護の問題等も含めて世帯として課題が多様化・複雑化する新たな社会問題。

**環境** **公園の公民連携** **自民党**

**問** 公園は、花や緑に囲まれた憩いの場であり、地域コミュニティの拠点や防災機能を持つ重要な場所です。市は、元年9月に「公園における公民連携に関する基本方針」を策定しており、2年度から予算面も含めた本格的な取組を期待しています。公園における公民連携への取組姿勢について、うかがいます。

**答** 近年、花や緑の豊かな公園でカフェやレストラン、ヨガなど魅力的なイベントを楽しみたいニーズが高まっています。市民生活の豊かさや市のブランド力向上のため、民間のノウハウや資金を活用して公園の魅力やにぎわいをより高めることを目指します。

**IR** **実現に向けた決意** **自民党**

**問** 人口減少や超高齢社会の進展など、今後、厳しい社会状況と財政状況が見込まれます。市の20年、30年先の将来を見据え、市会とも意見交換しながら検討を進める必要があると思います。横浜IRの実現に向けた市長の決意をうかがいます。

**答** 将来の安定的な市政運営に強い危機感がある一方、横浜はさらに飛躍するポテンシャルを持っています。ギャンブル依存症や治安の対策に力を入れ、観光立国を目指す日本の成長戦略の一翼を担いたいと思います。

**IR** **横浜IRとスマートシティ** **自民党**

**問** AIを使った同時通訳のテクノロジーや、分身ロボットの活用をはじめ、横浜IRはスマートシティとしての特色を出すべきと考えますが、いかがですか。

**答** SDGs未来都市・横浜として、横浜IRでは、ICTやIoTなどを活用した効率的で持続可能な最先端技術と、水際に展開する緑あふれる魅力が同時に存在するまちを目指します。次世代スマートシティの実現に向け、市が求めることを実施方針等にとり、民間事業者から提案を求めます。

**IR** **事業者契約の解除規定** **立国フ**

**問** 1月28日の衆議院予算委員会で国交相は、申請後の取下げは可能と答弁しました。IR開設後であっても状況の変化により、立ちどまることができるよう、事業者との契約には、解除に関する規定を設けるべきと考えますが、いかがですか。

**答** 事業者選定後、基本協定等を締結し、信義則に反する場合のペナルティ設定などを検討します。区域整備計画の申請後、国から認定された場合、市と事業者で実施協定を締結します。IR整備法では、実施協定の有効期間や違反した場合の措置などを定めることとなっており、あらゆるリスクを想定して検討します。

**IR** **アドバイザー契約事業者の透明性・公平性・公正性** **共産党**

**問** 市とアドバイザー契約したEY<sup>イーフ</sup>新日本有限責任監査法人(以下、「本法人」)の関連海外法人は、横浜への進出を企図する海外のIR事業者の監査法人です。本法人が、市の事業者選定のための実施方針や募集要項の策定に関わることは、透明性・公平性・公正性を担保できるか、うかがいます。

**答** 各国のEYグループ各法人は法的に独立した組織で、業務に関して情報共有しないことを確認しており、市の検討状況等が漏えいすることはありません。また、市の利益に反する行為の制限や守秘義務を課しており、本法人がIRに関連して民間事業者の支援を行うことはありません。

**交通** **旧上瀬谷通信施設での新たな交通の導入** **自民党**

**問** 旧上瀬谷通信施設(瀬谷区、旭区所在)では、年間1,500万人が訪れるまちづくりを目指しており、交通需要に対応するために、相鉄線瀬谷駅周辺から**中量軌道輸送システム**(※1)の整備を想定し、1月から土地区画整理事業等とあわせ、環境影響評価の手続きを開始しています。新たな交通の導入に向けた検討の進め方について、うかがいます。

**答** 想定される来街者数に適した輸送力を持つ、**新交通システム**(※2)を軸に検討を進めます。2年度は設計や調査などを行い、環境影響評価や都市計画の手続きを進めます。

**用語解説** **中量軌道輸送システム** (文中の\_\_\_\_\_ (※1)で表示)  
新交通システム(AGT)、都市モレール、次世代型路面電車システム(LRT)等の交通機関。  
**新交通システム** (文中の\_\_\_\_\_ (※2)で表示)  
桁上に設置された走行路(床板)の上を、ゴムタイヤのついた車輪を有する車両が案内レールに従って走行するシステム。

**教育** **デリバリー型給食の早期実現** **自民党**

**問** 教育委員会では昨年、外部有識者を含めた懇談会の開催や、生徒・保護者等へのアンケート調査などを実施し、現在の中学校昼食の選択制について一定の評価がされていることや、デリバリー型給食への保護者の期待が高いことがわかりました。デリバリー型給食の早期実現を目指すべきと考えますが、いかがですか。

**答** 選択制を充実する中で、ハマ弁の更なる改善を図り、3年度からの実施も視野に入れ、できるだけ早期に学校給食法上の給食に位置付けることを目指したいと考えています。

**教育** **ハマ弁を給食に位置付けることの意義** **公明党**

**問** デリバリー型給食への保護者のニーズがある中で、成長期の子どもたちに栄養バランスの良いハマ弁を気兼ねなく食べてもらうためにも、給食化を進めるべきと考えます。ハマ弁を学校給食法上の給食に位置付けることの意義について、うかがいます。

**答** ハマ弁を給食に位置付けることで、市が献立作成や食材調達規格などを担うことになり、中学校の昼食に対する責任がより明確になります。国産比率の向上や地産地消の推進など、食材の充実も目指したいと考えており、生徒や保護者の安心感につながり、さらに利用しやすくなると考えています。

**教育** **中学校給食の実施** **共産党**

**問** デリバリー給食の要望は高いというアンケート結果を元に、ハマ弁を給食化しようとしていますが、中学生や保護者から本当に求められているものは何かを改めてアンケートを実施し、把握することが必要です。見解をうかがいます。

**答** 市では実現可能な選択肢はハマ弁のようなデリバリー型の昼食と考えており、今後も、中学校の昼食のあり方や給食実施を直接問うことは考えていません。今回のアンケート結果から、デリバリー型給食への保護者の期待は高く、懇談会からも、学校給食法上の給食に位置付けることを含むご意見をいただいていますので、その方向で進めていきたいと考えています。

**教育** **1人1台端末を活用した教育** **自民党**

**問** 1人1台の端末が整備されるということは、これまでと違った新しい教育の狙いがあり、新しいものが授業で使われるようになると思います。1人1台端末を活用してどのような教育を目指すのか、うかがいます。

**答** **Society5.0**(※)を生きる子どもたちは「未来社会の創り手」となるべく、確かな基礎学力を土台にした創造性を育む必要があるとされています。理解度や特性に応じて、個別に最適化された学びを取り入れ、児童生徒が端末を主体的に活用し、多様な立場の人たちと協働して、課題解決に生かせるようにしていきます。

**用語解説** **Society5.0** (文中の\_\_\_\_\_ (※)で表示)  
内閣府において提唱された、情報社会に続く、新たな社会。仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会。

**教育** **医療的ケア児・者への支援** **自民党**

**問** 人工呼吸器を使用する児童生徒には、登校してからずっと保護者が付き添っていただければなりません。子どもの自立・成長の面からも、保護者の精神的・体力的な負担の面からも喫緊の課題です。保護者付き添い解消に向けた具体的取組について、うかがいます。

**答** 4月以降、準備の整った訪問看護ステーション等から看護師を学校へ派遣し、現在保護者が行っている医療的ケアにモデル的に取り組みます。児童生徒の安全確保を第一に、緊急時の対応など校内の安全管理の仕組みが整い次第、段階的に取組を進めます。

**教育** **いじめ早期解決に向けた取組** **立国フ**

**問** いじめの早期発見・早期解決のため、他都市では危機管理室の中に対策チームを設置しているところもあります。いじめの相談窓口の体制について、うかがいます。

**答** 学校では、担任教諭のほか、全市立学校に配置されている児童支援・生徒指導専任教諭やスクールカウンセラーなどが相談を受け付けています。学校に相談しにくい場合には、いじめ110番や一般教育相談、学校生活あんしんダイヤルなどにおいて、臨床心理士やスクールソーシャルワーカー、元教員などが対応しています。

令和2年 第1回市会定例会 議案に対する各会派の賛否一覧

○は賛成、×は反対、空欄は賛否双方あり

Table with columns for '議案名' (Proposal Name), '自(36)', '憲(20)', '公(16)', '共(9)', 'ヨ(1)', '立(1)', '井(1)', '豊(1)', 'ネ(1)', and '議決結果' (Decision Result). Rows include '市長提出議案' (Mayor's proposals) and '議員(委員会)提出議案' (Councilor/Committee proposals).

Table listing members of various political parties: 自由民主党横浜市議員団・無所属の会(自) 36人, 公明党横浜市議員団(公) 16人, 日本共産党横浜市議員団(共) 9人, 立憲・国民フォーラム横浜市議員団(憲) 20人, 横浜から日本を変える会(ヨ), 井上さくら(井), 神奈川ネットワーク運動(ネ).

可決された意見書

市会では、意見書を国会及び国や県などに提出することで、議会としての意思を表明します。

新型コロナウイルス感染症の対応について国際的な連携を求める意見書(要旨)

国におかれては、今般の新型コロナウイルス感染症への対応に際しては、わが国としても率先して、全ての国・地域とともに知見を結集し、世界保健機関(WHO)とも連携を取りながら、地理的空白が生ずることなく、早期終息へ向け迅速に対応していただくことを強く要望する。

新型コロナウイルス感染症の拡大抑制に向けた意見書(要旨)

国におかれては、正確な情報を把握し、地方自治体等に対して適切な時期に情報提供を行うとともに、具体的な支援に当たっては地元の状況を踏まえた対応を行うこと、また、マスクや消毒薬など医療資材の安定供給に努めるなど医療体制等の整備を図り、医療機関や救急関係者並びに高齢者福祉、障害者福祉及び保育・児童福祉などの各関係事業所や学校などに対する優先的供給を行うことを強く要望する。

議会通信

横浜市会が移転します 横浜市会は5月25日(月)から移転します。

新所在地 〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

アクセス みなとみらい線馬車道駅直結、JR・地下鉄桜木町駅から徒歩3分

その他移転に関する詳細は 横浜市 移転情報 検索

点字版・CD版・デジ版を発行しています

郵送を希望される方は、問合せ先までご連絡ください。音声データは市会ホームページにも掲載しています。

ご意見・ご感想をお寄せください

「ヨコハマ議会だより」をはじめ、市会ホームページなどで議会の広報を行っています。皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。市政に関するご意見やご提案は、担当する部署にお届けします。担当部署からの回答が必要な場合には、その旨お伝えください。

問合せ 議会局秘書広報課

045(671)3040

045(681)7388

gi-kouhou@city.yokohama.jp



第2回市会定例会の日程

日程は市会ホームページをご確認ください。

横浜市会 日程 検索

